

刑 法 犯 の 概 況

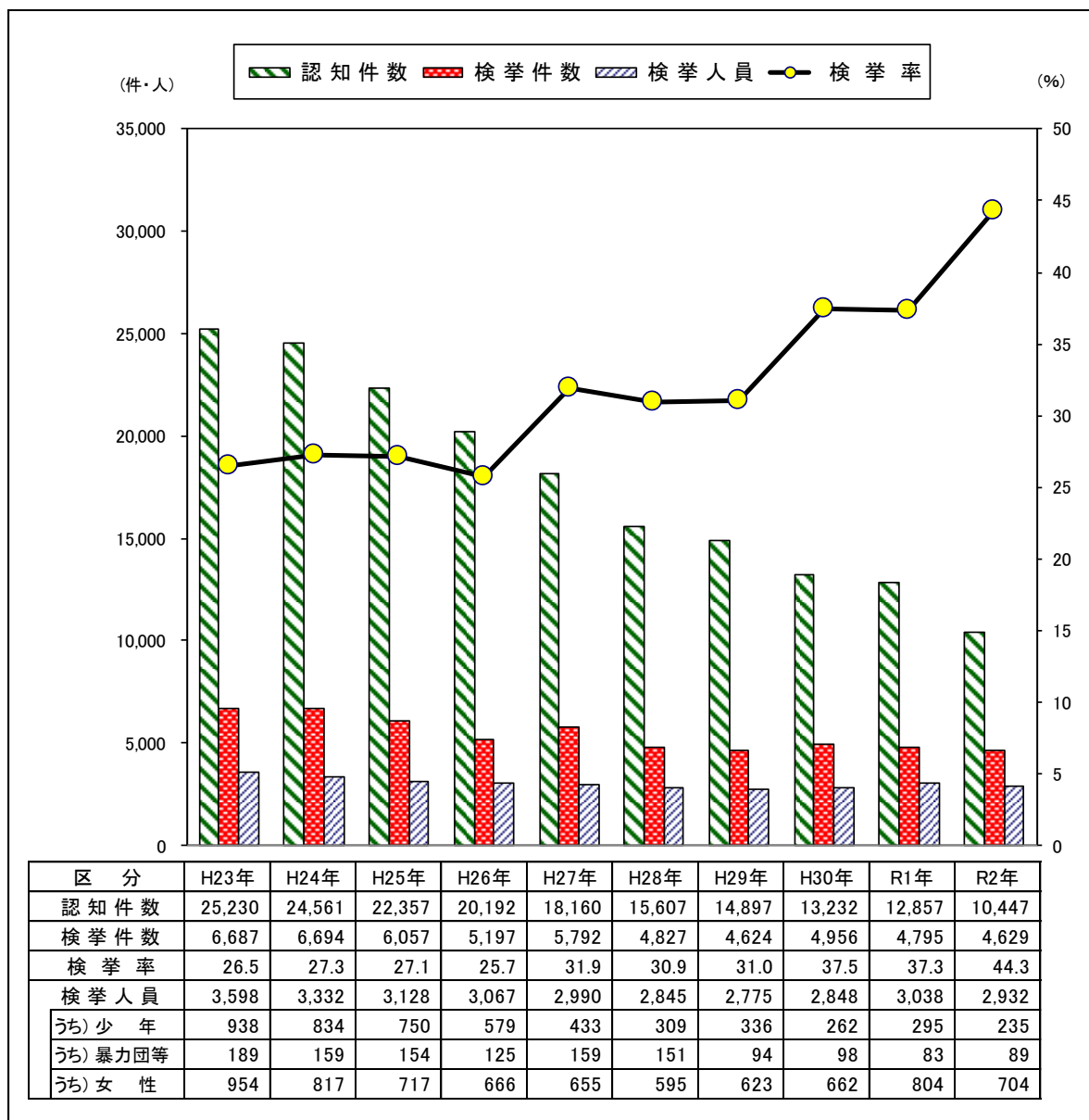
1 刑法犯

● 認知件数は戦後最少を更新

令和2年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が10,447件、検挙件数が4,629件、検挙人員が2,932人、検挙率が44.3%でした。前年と比較すると、認知件数は2,410件(−18.7%)減少、検挙件数は166件(−3.5%)減少、検挙人員は106人(−3.5%)減少、検挙率は7.0ポイント上昇しました。

認知件数は戦後最多の平成14年(51,956件)に比べ、約5分の1に減少し、戦後最少となりました。

図-1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

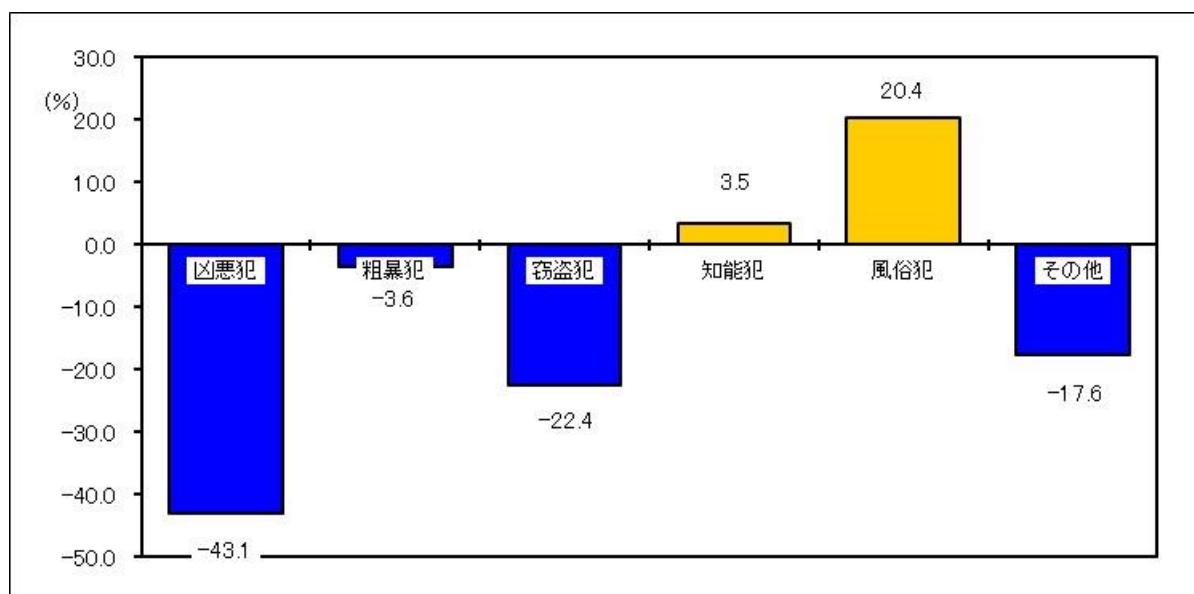


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が33件、粗暴犯が985件、窃盗犯が6,829件、知能犯が555件、風俗犯が118件、その他の刑法犯が1,927件でした。前年と比較すると、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯などは減少しましたが、知能犯、風俗犯はそれぞれ増加しました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯
令和2年	10,447	33	985	6,829	555	118	1,927
構成比	100.0	0.3	9.4	65.4	5.3	1.1	18.4
令和元年	12,857	58	1,022	8,804	536	98	2,339
構成比	100.0	0.5	7.9	68.5	4.2	0.8	18.2
増減 件数	-2,410	-25	-37	-1,975	19	20	-412
%	-18.7	-43.1	-3.6	-22.4	3.5	20.4	-17.6

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強制性交等
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取誘拐等、器物損壊等など上記に掲げるもの以外の罪

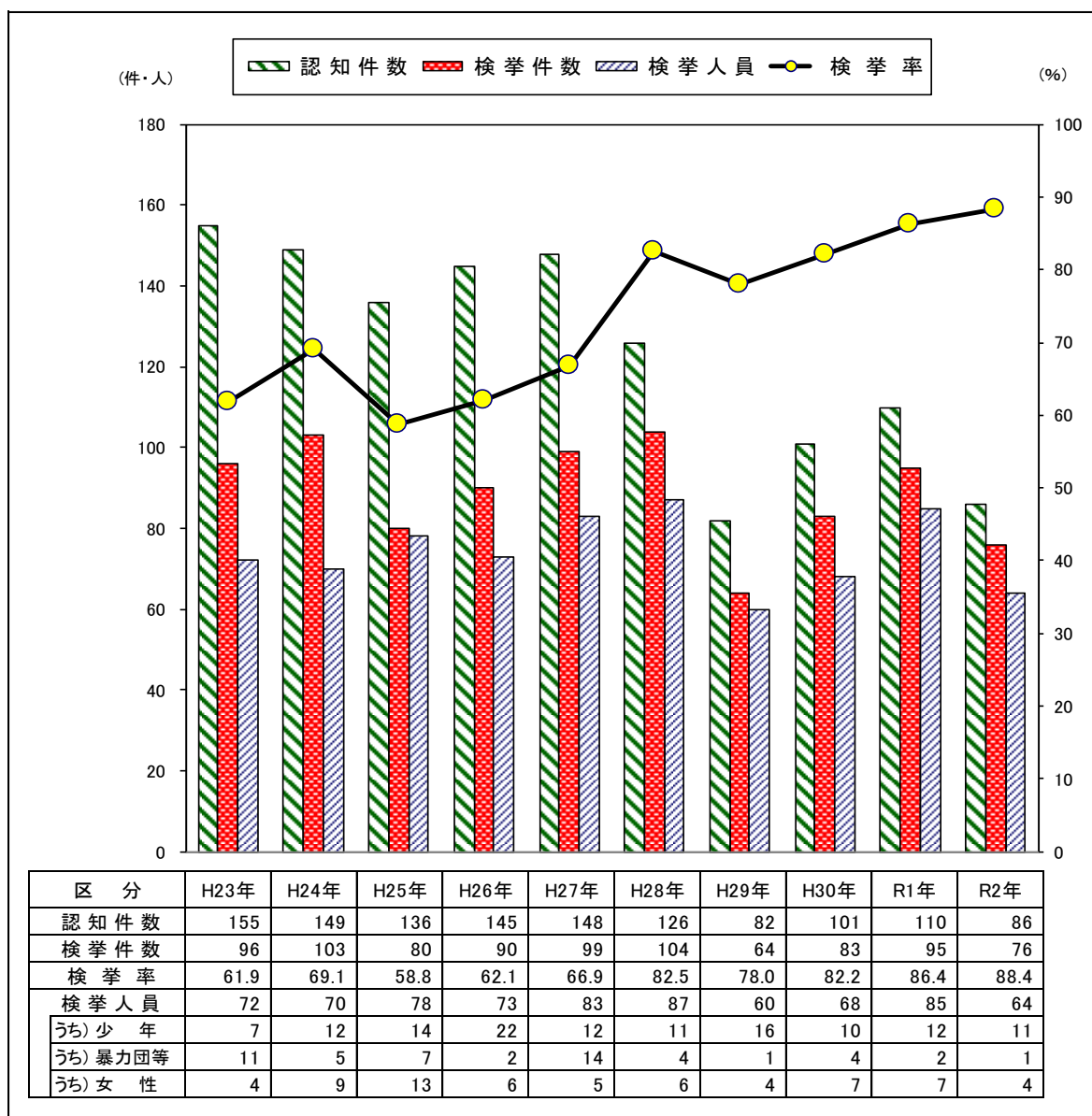
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐等、強制わいせつ）

● 検挙率は90%弱（88.4）まで上昇

令和2年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が86件、検挙件数が76件、検挙人員が64人、検挙率が88.4%でした。前年と比較すると、認知件数は24件（-21.8%）減少、検挙件数は19件（-20.0%）減少、検挙人員は21人（-24.7%）減少、検挙率は2.0ポイント上昇しました。

認知件数はピーク時（平成13年：326件）に比べ、約4分の1に減少しました。一方、検挙率は平成28年以降80%前後で推移し、令和2年は90%弱まで上昇しています。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

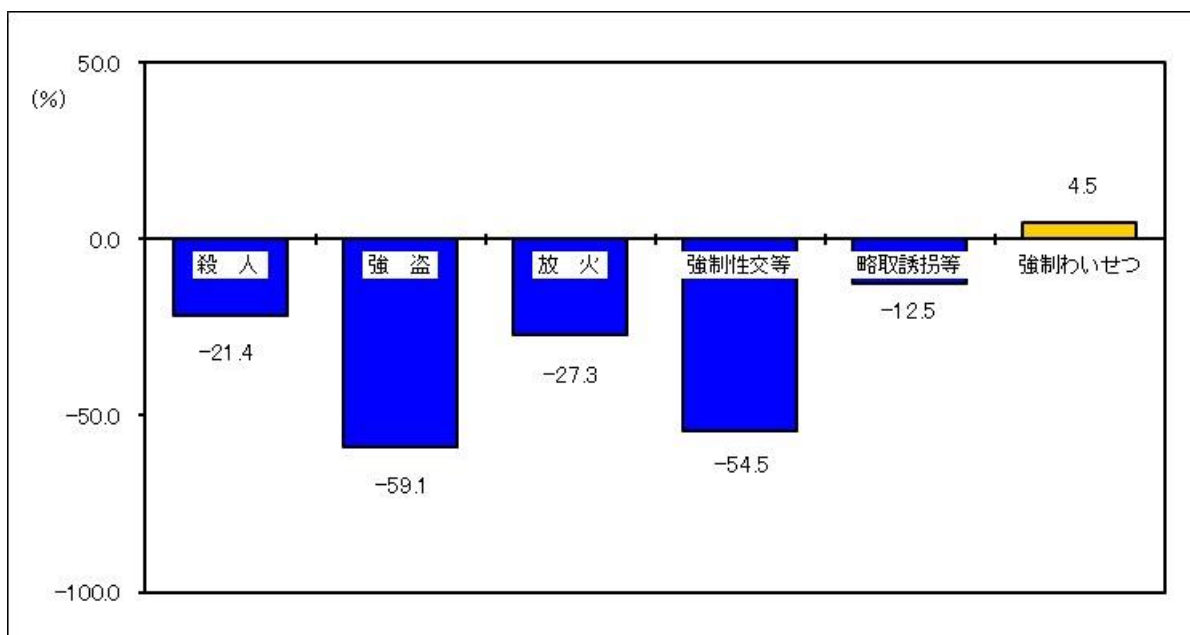


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が11件、強盗が9件、放火が8件、強制性交等が5件、略取誘拐等が7件、強制わいせつが46件でした。前年と比較すると、強制わいせつを除くすべての罪種が減少しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

罪種		総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐等	強制わいせつ
区分								
	令和2年	86	11	9	8	5	7	46
	令和元年	110	14	22	11	11	8	44
増減	件数	-24	-3	-13	-3	-6	-1	2
	%	-21.8	-21.4	-59.1	-27.3	-54.5	-12.5	4.5

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



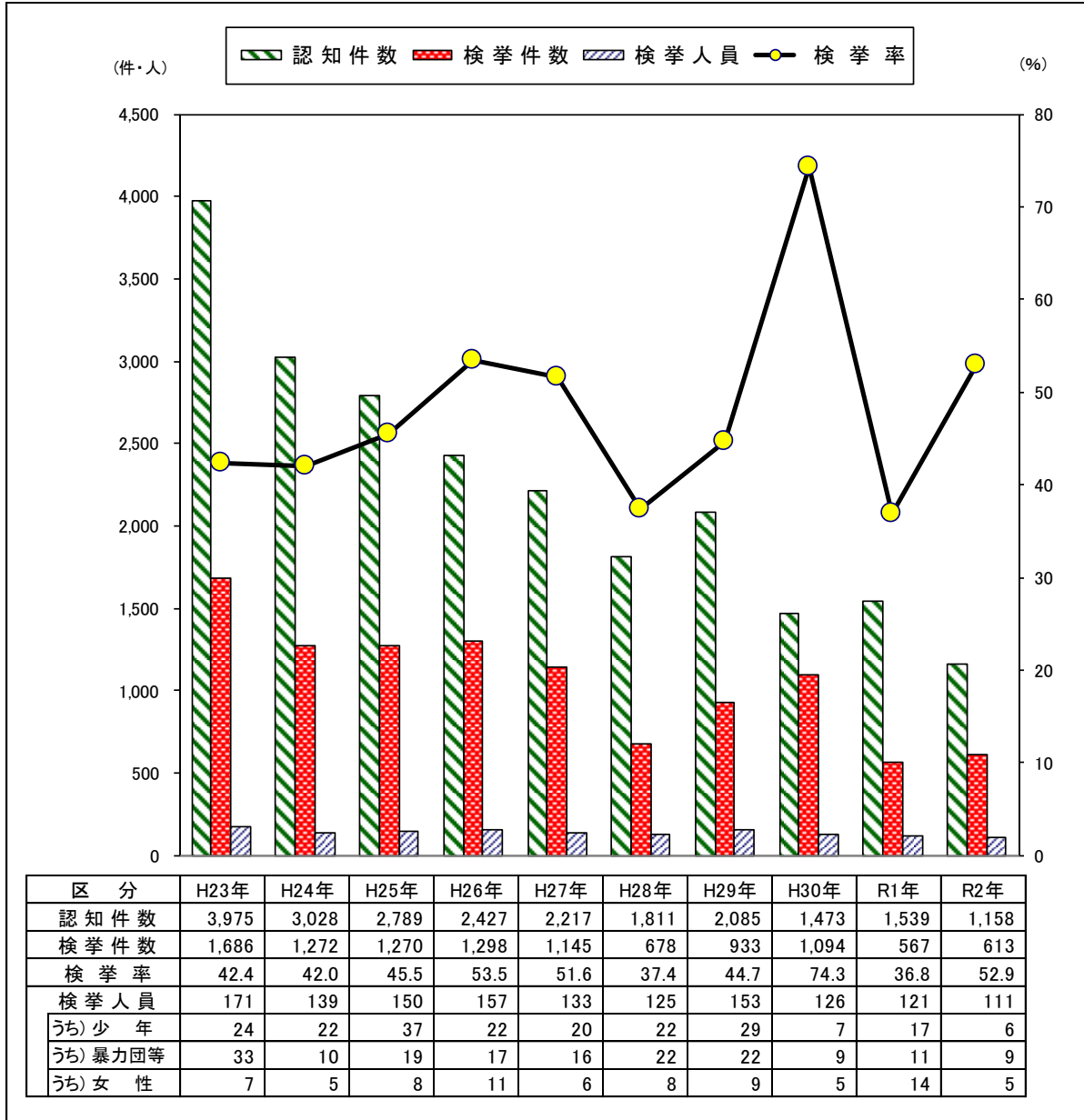
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

● 認知件数は侵入盗が大幅に減少

令和2年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が1,158件、検挙件数が613件、検挙人員が111人で、検挙率が52.9%でした。前年と比較すると、認知件数は381件（-24.8%）減少、検挙件数は46件（+8.1%）増加、検挙人員は10人（-8.3%）減少、検挙率は16.1ポイント上昇しました。

認知件数はピーク時（平成15年：8,800件）に比べ、約8分の1に減少しました。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移



重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が1,033件、自動車盗が114件、ひったくりが1件、すりが10件でした。前年と比較すると、特に空き巣や店舗をねらった出店荒しなどの侵入盗が大きく減少しました。

表－3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)				自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	事務所荒し	出店荒し			
令和2年		1,158	1,033	384	162	117	107	114	1	10
令和元年		1,539	1,381	523	154	172	188	141	8	9
増減	件数	-381	-348	-139	8	-55	-81	-27	-7	1
	%	-24.8	-25.2	-26.6	5.2	-32.0	-43.1	-19.1	-87.5	11.1

図－6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比

